

社員をAI人材に、実践で覚えるPoC

AI 開発内製化・ ビジネス開発講座

出張
します!



7時間で業務に応用できるAI開発スキルを習得

画像認識は、画像から特徴をつかみ、対象物を識別するAI（人工知能）の1つです。例えば不正な画像の検知や自動運転の衝突防止など、画像判別はとても広く使われており、近年、専門的な知識なしに誰でも簡単に利用できるようになりました。

本講座では、「自社の課題に合わせて自分でアプリ開発、カスタマイズできるようになる」というスキルの習得を目指します。画像による商品判別、農作物の品質チェックなど、ITで日常業務の効率化を目指しませんか？

講座の特長

✓ 専門の講師が出張

経験豊富な講師がご要望の場所に出張し、手順に沿って一緒に開発を進めるハンズオン形式で講義します。準備いただくのはPCとインターネット環境だけ。10名までなら何人でも受講可能です。

※別途、Microsoft Azureサブスクリプションのご契約が必要です。

✓ AIプログラムの知識不要

ブラウザ上でのドラッグなど簡単な操作で画像認識AIを作成できる、Microsoft Azure Custom Visionの使い方をレクチャーします。理論や解説ではなく実際の開発をメインとしたAI初心者向けの内容です。

✓ アプリ開発を習得

スマホ撮影の画像やPCに保存した画像を何パターンかに識別し、紐づくテキストを表示するアプリを実際に作成します。作成いただいたアプリはお持ち帰りいただき、即業務に活用いただけます。

こんな企業様にオススメです

- ・ AIビジネスをこれから考えようとしている
- ・ PoCを内製化したいけど人材がない
- ・ 画像認識とは何ができるのかを知りたい
- ・ ベンダー任せだったPoCで失敗した

お問い合わせ先・お申込み 株式会社 神戸デジタル・ラボ

TEL 078-327-2280 受付時間：平日10:00~17:00

MAIL info@kdl.co.jp

ご相談に応じて日程を決定いたします。講義日当日は専門の講師がご指定の場所に伺い、講義を行います。レジメは当社で準備いたします。時間帯・内容のカスタマイズはご相談を承れます。まずはお問い合わせください。

受講者の声

全員が画像分類・物体検出のモデルを作成できた

今回の講座の参加者はAIの活用に向けて検討を行っている部署の社員が主でしたが、AIに関する知識が少ない参加者が多数でした。しかし、AIアプリ作成環境の構築から始まり、一つずつ順番に教えて頂いたことにより全員が最後まで画像分類・物体検出のモデルを作成できました。

また、講座の内容は単なる作成方法に留まらず、前段階のデータ収集の注意点などAI導入に向けた現実的なアドバイスも豊富に含まれていました。本講座で得た知見をプラント監視制御のAI導入検討に生かしていきたいと思えます。



株式会社タクマ
ご担当者様

ハンズオン編カリキュラム

【ハンズオン】

- Step1. 画像判別器をつくる
- Step2. アプリを作成する
- Step3. アプリを公開する
- Step4. 画像判別器を賢くする
- Step5. アプリをカスタマイズする
- Step6. 自分だけのオリジナル画像判別アプリをつくる

【座学】

- 使用する画像データについて
- ・前処理の重要性
 - ・判別の目的とデータの質
 - ・データ収集にかかるコスト
 - ・著作権法

※内容は事前の予告なしに変更する場合があります。

必要スキル

- **必須** 簡単なPC操作
 - ・ファイルのダウンロード
 - ・ZIPファイルの解凍
 - ・ソフトのインストール 等
- **推奨** 初歩的なUNIXコマンド
 - ・フォルダ移動 等※スタッフがサポートいたします

ご用意いただくもの

- ・パソコン (Windows、mac推奨)
※受講される人数分ご用意ください
- ・インターネット環境
- ・Microsoft Azureサブスクリプションのご契約
※事前にお客様にてご手配ください

価格

80 セミナー講習費
万円/10名まで

(以降6万円/1名様で追加可)

※別途、Microsoft Azureサブスクリプション利用に係る費用が必要です。

オプション ▶ PoC実践編

ハンズオン編受講後、課題設定から現地での効果測定まで、実際に社内の課題に取り組みながらPoCの進め方、作業のコツを習得します。詳細は別途チラシをご覧ください。

